



クイック インストール ガイド

ADAPTEC SERIAL ATA RAID 2410SA



Adaptec Serial ATA RAID 2410SA

クイック インストール ガイド

著作権

© 2003 Adaptec, Inc. All rights reserved. この文書は、たとえその一部であっても事前に Adaptec, Inc., 691 South Milpitas Blvd., Milpitas CA 95035 から書面による許可を得た場合を除き、電子的、機械的、複写機、記録あるいはその他いかなる手段、いかなる形式によっても転送、複製、検索システムに登録してはなりません。

商標

Adaptec、Adaptec のロゴおよび Adaptec Storage Manager は Adaptec, Inc. の登録商標で数ヶ国で登録されています。

Windows 2000 および Windows XP は Microsoft 社の登録商標であり、アメリカその他の諸国でライセンスの下に使用されています。

その他の商標は各権利所有者の所有によるものです。

変更

本文書の資料は単なる情報として提供されるものであり、予告なく変更される可能性があります。本書の制作に際し正確さを期するために万全の注意を払ってはおりますが、本書中の誤記や情報の抜け、あるいは情報の使用に起因する結果に関して Adaptec 社はいかなる責任も負いません。

Adaptec 社は、ユーザに対する事前の約束及び告知無しに製品のデザインを変更する権利を留保します。

禁止事項

本書のどの部分も、著作権者からの事前の書面による許可なくして、電子的、機械的を問わず、複写や記録などいかなる方法やいかなる形による転送や複製、検索システムへの登録を行う事は法律で禁止されています。

目次

はじめにお読みください	2
キットの内容	3
ドキュメントについて	4
コントローラの機能	6
ストレージ管理ソフトウェアの概要	9
安全上のご注意	10
コントローラの取り付け	11
ドライバのインストール	14

はじめにお読みください

Adaptec Serial ATA RAID 2410SA コントローラを取り付ける前に、本章をお読みください。この章では、本書を読むためのポイントを示し、インストールプロセスの概要を説明します。

インストール手順の概要

この項では、コントローラを取り付け、接続し、設定する方法を簡単に説明します。

- 1 この文書の記載事項をよく読み、理解します。
- 2 11 ページの「[コントローラの取り付け](#)」に記載されている手順に従い、コントローラとハードディスク ドライブを取り付けて設定します。
- 3 14 ページの「[ドライバのインストール](#)」で説明する手順に従って、ドライバをインストールします。お使いのシステムにより、手順が異なります。

新しいシステムの場合：

- a アレイを構築します。
- b オペレーティングシステムインストール作業の始めに、コントローラのドライバをインストールします。

既存のシステムの場合：

- a コントローラ ドライバをインストールします。
 - b アレイを構築します。
- 4 Adaptec インストール CD に収録されている『インストールおよびユーザズガイド』の説明に従い、Adaptec Storage Manager™ – Browser Edition をインストールします。
 - 5 重要な情報を入手できるように、<http://regist.adaptec.co.jp> にアクセスして、オンラインでお使いのコントローラのユーザ登録を行ってください。

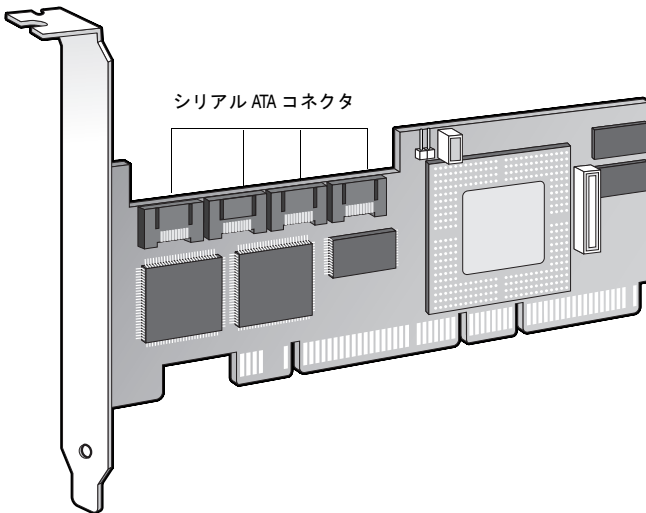
キットの内容

Adaptec コントローラ キットには、以下のものが含まれています。

- Adaptec 2410S コントローラ (下図参照)
- 『Adaptec Serial ATA RAID 2410SA クイック インストール ガイド』
- インストール CD
- ロープロファイル ブラケット (コントローラに装着の標準のフルサイズ ブラケットに加え同梱)
- シリアル ATA インターフェース ケーブル 4 本
- TSID (テクニカルサポート ID) ラベル (詳細は、Adaptec インストール CD に収録されている、『インストールおよびユーザーズガイド』を参照してください。)

Adaptec 2410SA コントローラ

Adaptec 2410SA コントローラは、以下のような外観をしています。シリアル ATA インターフェースコネクタの位置は、シリアル ATA ハードドライブを接続するのに必要なのでご注意ください。



ドキュメントについて

このキットに同梱されるドキュメント類は、以下になります。

- 『Adaptec Serial ATA RAID 2410SA クイック インストール ガイド』(本書)— コントローラをインストールするために必要な情報の殆どが含まれます。
- 『Adaptec Serial ATA RAID 2410SA インストール および ユーザーズガイド』— には、以下の内容が含まれます。
 - Adaptec Storage Manager™ – Browser Edition のインストール方法の説明
 - BIOS ストレージ管理ユーティリティを含むこのキットに同梱の全てのソフトウェアの機能の説明
 - カスタマ サポートに関する情報
- 『Adaptec Serial ATA RAID 2410SA Command Line Interface ソフトウェア リファレンス ガイド(英語版)』—RAID 管理ユーティリティのコマンドラインの使用法を説明しています。

『インストールおよびユーザーズガイド』および『ソフトウェア リファレンス ガイド(英語版)』を表示するには、Acrobat Reader と Adaptec インストール CD が必要です。(詳細については、「[Adobe Acrobat Reader のインストール](#)」を参照してください。)
- リリース ノート—インストールを始める前に、リリース ノートをお読みください。ドキュメントの表示のリストから **リリース ノート** を選択するか、CD のルートディレクトリにある「**Readme**」ファイルをテキスト エディタで開きます。最新の情報については、<http://www.adaptec.co.jp> または <http://www.adaptec.com> を参照してください。

また、ドキュメント類も <http://www.adaptec.co.jp> または <http://www.adaptec.com> からご利用可能です。アダプテックの Web サイトから入手できるドキュメントは、CD に収録されているものよりも新しい場合があります。ガイドの裏面にあるバージョン番号を確認してください。

Adobe Acrobat Reader のインストール

Adaptec インストール CD には、Adobe Acrobat Reader の Windows と Linux のそれぞれのバージョンが含まれています。(また、Adobe Acrobat Reader は <http://www.adobe.co.jp> から無料でダウンロードすることもできます。) Adaptec インストール CD に含まれる、『Adaptec Serial ATA RAID 2410SA インストールおよびユーザーズガイド』のような PDF (Portable Document Format) フォーマットのドキュメントを見るには、Reader が必要になります。

Reader をインストールするには、以下の手順に従います。

- **Windows**—Adaptec インストール CD を挿入し、自動再生を待ちます。CD が自動的に開始しなければ、CD のルートを参照し、**autorun** をクリックします。それから、必要なオプションを選択します。
- **Linux**—<CD Mount Point>/packages/Acrobat_Reader/Linux を参照します。この場所を参照するには、フルパスを指定してください。フルパスを指定しないと、この場所を選択できないことがあります。

コントローラの機能

Adaptec 2410SA コントローラは、4 台のシリアル ATA ドライブをサポートします。このコントローラは、ハイエンドワークステーションおよびエン트리 レベルサーバにとって理想的な機能とパフォーマンスを提供します。

- PCI ローカルバス規格 (リビジョン 2.2) に準拠
- 32 ビット /33 MHz PCI スロットと互換性のある 64 ビット、66 MHz インターフェース
- 64 MB の オンボード RAM
- 1U/2U サーバに最適な、ロープロファイルの MD2 フォームファクタ
- シリアル ATA 規格 (バージョン 1.0) をサポート。加えて、シリアル ATA II 規格のうち、バックプレーンサポートのためのエンクロージャ管理および拡張 I/O ドライバをサポート。
- RAID レベル 0、1、5、10、およびシンプル ボリューム (JBOD)
- ARC (Advanced RAID Configuration) ユーティリティによる、オペレーティングシステムに依存しない RAID の作成と管理
- コントローラの BIOS および ARC のアップグレードを容易にするフラッシュ ROM
- 英数字ページャ向けのメッセージングを含む、イベントロギングおよびブロードキャスト
- ブラウザ ベースの管理ソフトウェア —Adaptec Storage Manager™ – Browser Edition によるすべての Adaptec ホストベース RAID 製品の一元管理。このアプリケーションにより、システム管理者は、パスワード保護のある Web アクセスを通して、RAID サブシステムのリモートからの管理、監視、構成を行うことができます。

Adaptec のアドバンスド RAID テクノロジーの特徴

アドバンスド RAID テクノロジーを使うと以下のことができます。

- **ディスク利用の最適化** — ドライブサイズが異なる場合でも、お使いのドライブの全容量を使用することができます。
- **オンライン容量拡張 (OCE)**—システムの運用中に RAID の容量を拡張することができます。
- **オンラインでの RAID レベルのマイグレーション**—アレイを一から再構築することなく、RAID レベルを変更することができます。
- **複数のアレイ** — 単一のドライブセットから複数のアレイを作成することができます。
- **SATA ディスクのホットプラグ**—システムをシャットダウンせずに、ディスクを追加したり取り外したりすることができます。

アレイのマイグレーション

Adaptec 2410SA は、以下の表に示すように、拡張、他のタイプのアレイへの移行、ストライピングのサイズ変更といった既存のアレイの変更をサポートします。

現在の アレイタイプ	新しい アレイタイプ	現在の アレイタイプ	新しい アレイタイプ
RAID 0	RAID 5、10	RAID 5	RAID 0、10
RAID 1	RAID 0、5、10	RAID 10	RAID 0、5

アレイを変更する場合は、Adaptec Storage Manager™ – Browser Edition のオンライン ヘルプを参照してください。

Windows は、オンライン容量拡張 (OCE:Online Capacity Expansion) をサポートしています。この場合、アレイの拡張が完了した時点で、システムの再起動を行わずに追加部分の容量を使用できます。追加された容量を使用する方法については、お使いのオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

ドライブ エンクロージャ

Adaptec 2410SA コントローラは、シリアル ATA II、Phase 1 規格による SES や SAF-TE などのエンクロージャ管理ハードウェアを組み込んだドライブ エンクロージャをサポートします。

ホットスペア

ホットスペアは、冗長性を持ったアレイで、あるドライブを、故障したドライブを置き換えるために予約しておくものです。ドライブが故障した場合は、故障ドライブはホットスペアで差し替えられ、アレイが再構築されます。

Adaptec 2410SA RAID コントローラは、次の 2 種類のホットスペアをサポートします。

- **グローバル**—すべてのアレイを保護できるだけの容量を持っていれば、すべてのアレイを保護します。
- **専用**—保護するように指定されているアレイのみを保護します。

自動フェイルオーバー

この機能により、故障したドライブが新しいドライブに置き換わった時に、コントローラが自動的にアレイを再構築できるようになります。この機能は、SES または SAF-TE 対応のドライブエンクロージャの冗長アレイにのみ、適用できます。詳細は、Adaptec インストール CD に収録されている、『インストールおよびユーザーズガイド』を参照してください。

ストレージ管理ソフトウェアの概要

Adaptec 2410SA には、ストレージサブシステムを管理するための次のソフトウェアが付属しています。

- **Adaptec Storage Manager™ – Browser Edition**— ブラウザベースのストレージ管理ソフトウェアで、アレイの作成、管理、アレイの管理に必要なデータ ログ作成機能のすべてを提供しています。アレイは、次のオペレーティング システムを使用するシステム上で設定および管理できます。

- Windows 2000、Windows XP、および Windows Server 2003
- Red Hat Linux 7.3 および 8.0
- SuSE Linux 8.1 および 8.0

詳細は、Adaptec インストール CD に収録されている、『インストールおよびユーザーズガイド』を参照してください。

- **ARC (Adaptec RAID Configuration)**— コントローラに組み込まれた BIOS コードの一部です。BIOS の起動中に **Ctrl+A** を押すと、ARC ユーティリティを起動できます。詳細は、Adaptec インストール CD に収録されている、『インストールおよびユーザーズガイド』を参照してください。ARC ユーティリティは、以下を含んでいます。

- **ACU (Array Configuration Utility)**— アレイの作成、構成、管理に使用します。DOS ベースの実行可能ファイルとしても提供されています。詳細は、Adaptec インストール CD に収録されている、『インストールおよびユーザーズガイド』を参照してください。

- **SATASelect**— コントローラとドライブのハードウェア構成を調べます。

- **Disk Utility**— ドライブのフォーマットおよび検証に使用します。

- **DOS ユーティリティ**— CD に含まれます

- **コマンドラインインターフェース (CLI)**— スクリプトを使って、テストや運用環境でのアレイの作成を自動化することができます。

安全上のご注意

ご自身の安全と、お使いの機器の安全のために、以下の事項をお守りください。

- 作業場所とコンピュータを整然とした環境に保ち、不要なものを周囲に置かないようにします。
- コンピュータ本体のカバーを開ける前に、電源コードをコンセントから抜きます。

メモ、ご注意

この『ユーザーズガイド』では、以下に示すような、メモ、ご注意を使用して重要情報を強調します。



メモ: 無視しても負傷や、資産の損害、データ損失の心配がない重要情報を強調します。



ご注意: 無視すると装置の故障やデータ損失を引き起こす可能性がある重要情報を強調します。

静電気

静電気 (ESD) は人間の日常的な活動に付き物です。ESD は、電荷を蓄積し保持する物質によって作られ、その電荷は接触することで人間または他の物質に移動します。



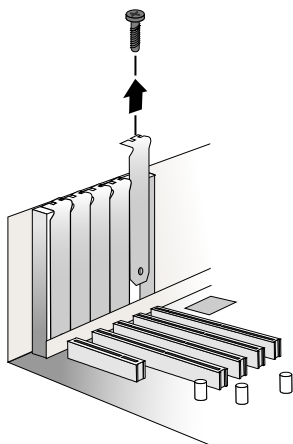
ご注意: 電子部品の取り扱いを誤ると、ESD による損傷を受け、部品の完全または断続的な故障につながる可能性があります。コンポーネントを取り外したり交換したりするときは、必ず ESD 予防手順に従ってください。

静電気による損傷を防ぐために、Adaptec インストール CD に収録されている、『インストールおよびユーザーズガイド』に記載されている詳細なガイドラインを参照してください。

コントローラの取り付け

コントローラをコンピュータ本体に取り付けるには、以下の手順に従います。

- 1 お使いのコンピュータをシャットダウンし、電源コードを抜きます。
- 2 コンピュータ カバーをはずし、未使用の PCI スロットを探します。
- 3 お使いのコンピュータが、ロープロファイルブラケットしか使用できない場合、標準のフルサイズブラケットの代わりに、キットに同梱のロープロファイルブラケットを取り付けてください。
- 4 未使用の PCI スロットを探し、以下に示すようにスロットカバーを取り外します。



- 5 PCI スロットにコントローラを取り付け、コントローラのブラケットをコンピュータ本体に固定します。
- 6 もし、まだシリアル ATA ハードドライブを取り付けていなかった場合は、今取り付け下さい。

- 7 キットに同梱のケーブルを使って、お使いのコントローラとシリアル ATA ハードドライブを接続してください。

ケーブルコネクタはすべて形状が同じなので、どちらの端も、コントローラやハードディスクドライブに接続できます。また、コネクタは上下の形が違い、一方向にしか合わないようになっています。コントローラやドライブに無理にケーブルコネクタを入れようとしないで下さい。コネクタが、簡単に入っていかなければ、反対側を試してください。

- 8 コンピュータのカバーを取り付け、電源コードを接続します。

コントローラとデバイスのチェック

これで、Adaptec 2410SA コントローラをインストールし、シリアル ATA ハードディスクドライブに接続できましたので、ARC RAID ユーティリティを使って、コントローラとデバイスを以下のようにチェックすることができます。

- 1 コンピュータの電源を入れます。
- 2 プロンプトが表示されたら、**Ctrl+A** を押すことで、ARC ユーティリティを実行します。
- 3 もし、お使いのドライブが、他のシステムで(たとえ、アレイの一部でなくとも)使われていたら、**Array Configuration Utilities** を選択して、ドライブを初期化して下さい。それ以外は、**手順 4**へ進みます。



メモ: 表示されていないドライブがある場合は、コンピュータの電源を切り、接続を確認してください。

- 4 **SATASelect** を選んで、コントローラとドライブのハードウェア構成を調べます。

すべてのドライブとコントローラが表示されていることを確認します。表示されていないドライブがある場合は、コンピュータの電源を切り、接続を確認してください。

起動コントローラの決定

お使いの Adaptec 2410SA は、起動可能なコントローラです。お使いのコンピュータに、オペレーティングシステムがインストールされた起動可能なハードドライブがある場合、お使いのコンピュータを、新しいコントローラから 2 番目のオペレーティングシステムでブートするよう設定することも可能です。

2 番目にブート可能なコントローラを追加するには、セットアップ (システム) に入り、Adaptec 2410SA がリストの最初にくるよう、ハードディスクのブートシーケンスを変更する必要があります。この操作ができない場合は、お使いのシステム BIOS では Adaptec 2410SA コントローラを起動デバイスとして動作させることができない可能性があります。

ドライバのインストール

ここでは、コントローラ用ドライバのインストールの方法について説明します。インストール方法は、以下のようなケースにより異なります。

- **新しいシステム** — コンピュータにオペレーティング システムがインストールされていないで、ドライバのインストールはオペレーティング システムのインストールの一環として行われる場合。
- **既存システム** — コンピュータにオペレーティング システムがインストールされていて、Adaptec 2410SA はセカンダリ コントローラとしてインストールされる場合。

アダプテックでは、以下のようなドライバインストールの手順をお勧めしています。

- 1 ドライバディスクを作成します。詳細については、「[ドライバディスクの作成](#)」を参照してください。
- 2 適切なオペレーティング システム、およびお使いのコンピュータに適したインストール方法を確認します。
- 3 サポートされている RAID タイプを確認します。ドライバのインストール中に、RAID タイプを選択する必要があります。詳細は、Adaptec インストール CD に収録されている、『インストールおよびユーザズガイド』を参照してください。
- 4 インストール手順全体を理解します。
- 5 インストールを開始します。

ドライバディスクの作成



Linux ユーザのみ: ドライバディスクを作成する前に、[15 ページの「Linux 用ドライバディスクの作成」](#)を参照してください。

以下のように、ドライバディスクを作成すると、ドライバのインストールはより簡単に行うことができます。

- 1 システム BIOS を設定して、コンピュータが CD-ROM ドライブからブートするようにします。
- 2 Adaptec インストール CD を挿入し、コンピュータの電源を入れます。
- 3 Adaptec Start Menu が表示されるまで、画面の指示に従って、必要に応じて質問に答えながら操作を進めます。
- 4 **OS のインストール/アップデートのためのドライバディスクの作成** をクリックします。次に、該当のオペレーティングシステムをクリックします。
- 5 適切なフロッピー ドライブのドライブ文字を選択します。次に、適切なフォーマットを選択します。(ディスクが一度もフォーマットされていない場合、または不良なセクタがある場合にのみ、完全なフォーマットが必要です。)
- 6 フロッピーディスクを挿入し、**OK** をクリックします。ドライバディスクが作成されます。
- 7 ドライバディスクを取り出し、ラベルを貼ります。

ドライバディスクが作成されたので、適切なドライバのインストール方法を確認し、インストールを開始してください。

Linux 用ドライバディスクの作成

Linux 用のドライバディスクを作成する場合、以下を使用します。

- **i386**—Intel 386 または 486 コンピュータの場合
- **i586**—Pentium I または II コンピュータの場合
- **i686**—Pentium III、IV、または AMD K-6 コンピュータの場合
- **Athlon**—AMD Athlon コンピュータの場合

ドライバのインストール手順は、下記を参照してください。

- このページの、「[Windows](#)」
- [17 ページ](#)の「[Linux](#)」
- [19 ページ](#)の「[UnixWare および OpenUNIX](#)」

Windows

新しいシステムへのドライバのインストール

コントローラを新しい Windows 2000、Windows XP、または Windows Server 2003 システムにインストールします。ドライバをインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 [11 ページ](#)の「[コントローラの取り付け](#)」に記載されている手順に従い、コントローラとハードディスク ドライブを取り付けて設定します。
- 2 システムを起動し、**Ctrl+A** を押して BIOS ベースの設定ユーティリティを起動します。設定ユーティリティを使用して、Windows をインストールするアレイおよび論理ドライブを作成します。詳細については、[12 ページ](#)の「[コントローラとデバイスのチェック](#)」を参照してください。
- 3 アレイが構築されたら、Windows のセットアップ CD を挿入し、システムを再起動して Windows のインストールを開始します。
- 4 サードパーティ製のドライバのインストールを求められたら、**F6** キーを押します。



メモ: **F6** キーの機能がアクティブな間は、5 秒間だけ画面下部にプロンプトが表示されます。**F6** キーを押せなかった場合は、コンピュータを再起動してください。

- 5 ドライバディスクを挿入し、ドライバのインストールを求めるメッセージが表示されるまで待ちます。ドライバがフロッピーディスクにあることを指定するために、**S** を押して、**Enter** を押します。コンピュータがディスクを読み取ります。
- 6 Adaptec ドライバが検出されたら、**Enter** を押します。画面に表示される指示に従ってインストールを完了します。

既存のシステムへのドライバの追加

ドライバを既存の Windows 2000、Windows XP、または Windows Server 2003 システムに追加します。ドライバをインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 11 ページの「**コントローラの取り付け**」に記載されている手順に従い、コントローラとハードディスク ドライブを取り付けて設定します。
- 2 Windows を起動します。Windows の新しいハードウェアの検出ウィザードが表示され、コントローラ ドライバが検索されます。
- 3 ドライバディスクを挿入して、コピー元としてフロッピー ドライブを選択し、**次へ** をクリックします。
- 4 続いて表示される 2 つの画面で **次へ** をクリックし、画面の指示に従ってコントローラのインストールを完了します。
- 5 ドライバディスクを取り出し、システムを再起動します。

Linux

コントローラは、Red Hat および SuSE Linux のバージョンを以下の表のとおりサポートしています。

Red Hat		SuSE	
バージョン	カーネルのバージョン	バージョン	カーネルのバージョン
7.3	2.4.18-3	8.0	2.4.18
8.0	2.4.18-14	8.1	2.4.19

メモ

- 上記リストにお使いのカーネルのバージョンがない場合は、次のケースが考えられます。
 - お使いのカーネルに組み込みのドライバが含まれている。
 - ドライバが利用できず、カスタム ドライバを作成する必要がある。
- Adaptec の Linux のサポートに関する最新情報については、<http://www.adaptec.com> または <http://www.adaptec.co.jp> を参照してください。

- SuSE Linux の場合のみ—コントローラが、起動コントローラとしてサポートされていません。したがって、ドライバは既存のシステムにしか追加できません。

既存のシステムへのドライバのインストール

次のドライバのインストール手順は、Red Hat および SuSE Linux システムの両方に当てはまります。ドライバをインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 CD ドライブがマウントされていることを確認して、RPM ドライバをインストールします。以下のように入力します。

```
rpm -Uvh <mount-point>/packages/Linux/driver_package/  
aacraid-*.i386.rpm
```

- 2 fdisk と mkfs を実行して、全ての新しいドライブのマウントポイントを作ります。

新しい Red Hat システムへのドライバのインストール

コントローラを新しい Red Hat Linux 7.3 または 8.0 システムにインストールします。ドライバをインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 [11 ページの「コントローラの取り付け」](#)に記載されている手順に従い、コントローラとハードディスク ドライブを取り付けて設定します。
- 2 コンピュータの電源を入れます。起動中に、**Ctrl+A** を押して ARC ユーティリティを起動します。ARC ユーティリティを使用して、アレイを作成します。詳細については、[12 ページの「コントローラとデバイスのチェック」](#)を参照してください。
- 3 CD ドライブに Red Hat CD Disk 1 を挿入します。
- 4 コンピュータを再起動します。
- 5 Red Hat の Welcome 画面が表示されたら、ブートプロンプトで **expert** と入力します。
- 6 ドライバディスクを挿入し、**OK** を選択します。
- 7 画面の指示に従って、希望の環境をセットアップします。
- 8 その他の他社製機器を取り付ける場合、ここでインストールします。取り付けない場合は、**Done** を選択します。
- 9 Red Hat の指示に従って Linux インストールを続けます。

UnixWare および OpenUNIX

UnixWare 7.1.1 と OpenUNIX 8 用に作成したドライバディスクは異なりますが、これらのオペレーティングシステムに対するインストール手順は同じです。

新しいシステムへのドライバのインストール

コントローラを新しい UnixWare 7.1.1 または OpenUNIX 8 システムにインストールします。

ドライバをインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 11 ページの「[コントローラの取り付け](#)」に記載されている手順に従い、コントローラとハードディスク ドライブを取り付けて設定します。

オペレーティングシステムのインストールの早い段階で、**Choose One** というウィンドウが表示されます。

- 2 ドライバディスクを挿入して、**Install HBA diskette** エントリを選択し、**F10** キーを押します。

ドライバが、ドライバディスクからロードされます。その後、HBA 画面が表示されます。

- 3 **Proceed with Installation** を選択し、**F10** キーを押します。

- 4 手順に従いインストールを完了させます。

- 5 インストールが終了したら、ドライバディスクを取り出して、システムを再起動します。

既存のシステムへのドライバの追加

ドライバを既存の UnixWare 7.1.1 または OpenUNIX 8 システムに追加します。

ドライバをインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 コンピュータをシャットダウンします。11 ページの「[コントローラの取り付け](#)」に記載されている手順に従い、コントローラとハードディスク ドライブを取り付けて設定します。

- 2 コンピュータの電源を入れます。次に、ドライバディスクを挿入します。

Adaptec Serial ATA RAID 2410SA クイックインストールガイド

- 3 pkgaddユーティリティを実行するため、
pkgadd -d diskette1 と入力し、**Enter** キーを押します。
UNIX がディスクとパッケージ情報を読み取ります。
- 4 **Enter** キーを押します。
- 5 システムを再起動します。システムにより、カーネルが自動的に再構築されます。
- 6 デバイスをコントローラに追加します。



Adaptec, Inc.
691 South Milpitas Boulevard
Milpitas, CA 95035 USA

©2003 Adaptec, Inc.
All rights reserved. Adaptec およびアダプテック
のロゴは、Adaptec Inc. の登録商標であり数カ国
で登録されています。

Part Number: 513601-06JA, Ver. AA